

こなん水辺公園ニュース

2013年11月号(通算第2★号)

こなん水辺公園解説員グループ編集

■晴天と紅葉 撮影 11月3日



11月に入り、木々の紅葉が始まりました。ここの公園では、エノキとケヤキが黄色く染まります。

写真は、紅葉しないタブノキと黄色くなったエノキです。どちらも大木になる種類ですが、公園ができて十数年、若木の状態です。

今年はタテハチョウの種類があまり飛来しませんでした。風が強い日が多かったことや、秋の訪れが早かったのかも知れません。

どこかで、たくましく生きてほしいですね。

秋の花々

■チガヤ 11月3日



河川敷の土手などに見られる「チガヤ」です。季節外れの白い穂を付けていますが、大きさは40センチほどの背丈です。

カヤという名前は古くからあり、茅葺きの屋根の材料ですが、このチガヤは小さくて不向きでしょうね。

一般に、茅葺きの材料のカヤは、ヨシとススキを指すと思います。茎が中空で保温性が高く、カルシウム分が多いので火に強い事も大事な要因です。

同じように見えるオギは、節々で「くの字」に曲がり、硬くて加工がしにくくカヤには向きません。

ちなみに、カヤと言う名前の植物は無く、総称として使われています。茅葺きの家そのものが減り、カヤも死語になりつつあります。

■オギ 11月3日



オギは河北潟を代表する植物の1つです。春に芽吹いた芽はどんどん大きくなり、2mを超えます。花はススキに似ており、遠目では区別ができません。

子供たちがいくつもの穂を取り、束ねて綿菓子のようにして持っていました。風に吹かれると穂が散り、綿毛が飛んでいきました。

アシ(ヨシ)は一足先に穂となり、すでにすべてを飛ばし、寂しく裸の状態です。この公園では、ヨシ刈りを実施しており、有効利用を考えています。公園の管理等前にヨシ舟があります。市民参加で作り上げたヨシ舟です。

もう一艘作る予定で、参加者募集中です。

☆イベントのお知らせ☆

参加者募集

ヨシ刈り

ヨシを利用してヨシ原を守ろう

1本1本でいねいにヨシを手鎌で刈りとります。
生物の保全、ヨシの再資源化が活動の目的です。



12月7日(土)
9:00~16:00



- 場 所 こなん水辺公園 管理学習棟集合
- もちもの 弁当、飲み物、タオル、雨具、長靴、動きやすい服装 鎌や軍手はこちらで用意します。
- 申込方法 1) お名前、2) 年齢、3) メール・FAX番号を下記までお知らせください。

河北潟湖沼研究所 メールinfo@kahokugata.sakura.ne.jp Fax076-255-6941

*中学生以下の方は保護者同伴での参加をお願いします。

昨年の活動で刈り取ったヨシから、この夏「ヨシ舟」を誕生させました☆舟の名前は「かほくがた元気号」河北潟のヨシで、舟をつくって、水面にでて遊んだら、最高に楽しい！活動には大勢の力と技が必要です。ぜひ、一緒に取り組みませんか。



市民グループこなん水辺公園救援隊と金沢市とともに活動しています。

■まつみみ？

11月3日



来園者が見つけました。石川県では「まつみみ」というそうです。キノコにはよく似た種類が多く毒キノコもあるので、公園内で見つけたキノコは絶対に食べないでください。

■ミズアオイ

11月3日



夏に花を付け、結実したミズアオイの鉢の様子です。来年もきっと青い可憐な花を咲かせてくれる事でしょう。

■アカネ

11月3日



アキアカネでしょうか。日が当たり、暖くなった木の支柱に止まり、じっとしていました。その近くにも何匹か居て、秋の名残を惜しんでいました。冬を越せない昆虫たちです。

■虫食いのヤナギ

11月3日



カミキリムシでしょうか。スジアカクマゼミかも知れません。木の中にはどれくらいの穴があるのかな？

(文・写真 河合雄二)

発行 2013年11月23日

制作 こなん水辺公園解説員グループ (NPO 法人河北潟湖沼研究所内)

連絡先 〒929-0342 河北郡津幡町北中条ナ 9-9 Tel.076-288-5803